

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) ヘモグロビンに吸収される標識 赤血球の蛍光波長が球速度 計測に及ぼす影響.	共著	平成 22 年 3 月	医療工学雑誌	蛍光生体顕微鏡下では、焦点深度によって、計測される赤血球速度分布が実際とは異なる可能性があるため、その影響を実測し検討した。(7頁) (山本明美、南山求、中野厚史) 担当部分:共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (学術論文) Direct evidence of the vasodilator action of carbon dioxide on subcutaneous microvaculare in rats by use intra-vital video-micorscopy	共著	平成 22 年 3 月	Journal of Biorheology	ヒトの皮膚循環に二酸化炭素が働き、血行を改善することに注目が集まっており、その効果の直接的な証明が求められた。そのために、麻酔下のラット皮膚を生体顕微鏡下に置いて、直接的に血流測定を行い、皮下の pH 計測を同時に行って、血管拡張に pH も関わり合っていることを示した。(5頁) (Minamiyama M, Yamamoto A) 担当部分:共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3 (学術論文) Development of a pulsatile flow-generating circulatory-assist Device	共著	平成 22 年 5 月	Journal of Artificial Organs	心臓手術時の体外循環回路に取り付ける拍動流発生装置を新たに開発し、その応用例と身体に及ぼす影響および安全性について検討した。(4頁) (Inamori S, Fujii Y, Oshita T, Kobayashi Y, Minamiyama M, Sasaki S, Murakami T, Sakuma I, Gunshin M, Suematsu Y, Yahagi N) 担当部分:共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (学術論文) パルスドプラー法と脈波 計測から推定される弾 性動脈系と筋性動脈系 の加齢性変化: 三要素モ デルによる検討	共著	平成 25 年 3 月	医療工学雑誌	臨床で用いられる超音波パルスドプラー法による血流情報と別途に計測される脈波伝播速度より筋性動脈の性状と加齢の影響を実測し、三要素モデルにより理論的に検討した。(7頁) (岡村法宜、南山求) 担当部分:共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 ()				